

小さくても真珠のように輝く鳥羽を目指して

鳥羽市長 木田久圭一



新年明けましておめでとうございます。本年が市民のみなさまにとりまして、希望に満ちた新しい年となりますようお祈りいたします。昨年が政権交代の年でありました。「現状の変化」と「日本の再生」を求めた国民の意思のあらわれであり、アメリカにおける「チェンジ」と「イエス、ウイキャン」に相通じるものがあつたように思います。

私は昨年4月の選挙によりまして、2期目の市長に就任させていただきましたこととなりました。無投票ではありませんでしたが、市民のみなさまより、引き続き市政に努力するようというご指示をいただいたものと認識しております。

本年は人口減少に、しっかりと対応すべき年であります。鳥羽に住んで、鳥羽で子育てをしたいと感じていただけのような市をつくらなければならないと思います。昨年の9月より、中学校3年生までのすべての子どもたちの医療費を県下の市に先駆けて無料化しました。第2弾、第3弾の方策について、少ない経費でより効果的なものを考えていきます。また、市内の未婚の男性と市外の女性との出逢い事業も進めておりますが、幸せな家庭がひとつでも多く生まれるように努めてまいります。

日本の経済が大変厳しい状況ではございますが、市民各位のご努力もあり、入湯税収入も着実に基金に組み入れております。この基金を活用して、多くの観光客でにぎわうまちづくりを進めていきたいと思っております。新年が鳥羽市民にとって幸せな年となりますように、そして天災などのない平和な年でありますようご祈念し、年頭のごあいさつといたします。

市議会ができること

鳥羽市議会議長 中村欣一郎



明けましておめでとうございます。

鳥羽市の人口は年々減少傾向にあるとはいうものの、お正月とすることで多くのかたがたが、ふるさと鳥羽へお帰りになつて初春を迎えておられるのではないかと拝察しております。

市内にはそれぞれに由緒ある神社やお寺が点在しておりますが、早々にこの1年の健康とご多幸を願ひ、お参りも済まされたことでしょうか。また、各所には評判の日の出のスポットもありませんことことから、素晴らしい初日の出に願かけをされたかたもいらっしゃるのではないでしょうか。

一方、世の中の情勢はよいといたすと、日の出の勢いという言葉とは裏腹に、昨年一気に、なし崩しに後退してしまいました。徐々に回復基調にあつただけに衝撃の大きさは計り知れませんが、製造業はじめ、景気動向に大きく左右される観光業にも甚大な影響を及ぼしつつあり、広がりはずべての産業に及んでいます。

このような中、鳥羽市の方向性を決定する役目を持った機関として、市議会の大きな責任を感じています。即効性のある活性化策の提案を模索しつつ、もう一つの柱として、議事決定機関としての基本性能を高めるべく、「議会基本条例」の策定を中心に据えた改革に、昨秋より一丸となって取り組んでいます。現在は、議会報告会の開催など、市民のみなさまのお声を聞く機会をより多く設けることなどを議論しているところです。今後とも市民のみなさまの声を的確に市政に反映し、ご期待に沿えるよう全力で取り組みまいります。

みなさまの一層のご支援とご協力とご参加をお願いいたします。

謹賀新年